



ボード上のシンボルを使って複雑な会話も可能にするプリシンボリックス。

いる数少ない国のひとつでもある。献血制度を管理しているカナダ赤十字では、年間延べ100万人以上の献血を受け付けている。

### 地域保健センターの活動

カナダの医療制度は、技術的進歩、健康をめぐるさまざまな新しい問題、費用の上昇、人口の高齢化、病気治療だけでなく健康増進も重視する医療についての新しい考え方——といった状況の変化に、どう対応しているだろうか。

カナダの医療サービス・ネットワークの核になっているのは、全国にくまなく設置されているコミュニティ・ヘルス・センター、すなわち、保健所だ。これらの保健所は、それぞれの地域の理事会が、個々の地域のニーズ、および利用者の社会的、文化的、経済的背景に合ったサービスを提供するため、非営利で運営する機関。医療に対する広い観点から、プライマリー・ヘルス・ケア（初期診療）とともに、健康づくりや病気予防にも力を入れ、また患者自身が医療の中に参加することを目指している。これらのセンターには、さまざまな分野の医療専門家が常駐しており、出産前学級や心臓病リハビリテーション・プログラム、麻薬中毒治療クリニック、がん患者カウンセリング学級といった集学サービスを提供している。費用効率が高く、地域に密着し、また利用しやすいカナダのコミュニティ・ヘルス・センターは、いろいろな国々でもお手本に、と検討中だ。

カナダ最初のコミュニティ・ヘルス・センターができたのは1963年。つくったのは、オンタリオ州南西部の産業都市スーセントメリーの鉄工労組支部で、当初は組合員を対象に基礎的な医療サービスを提供していたが、現在では市民のおよそ7割、約7万人がその恩恵を受けている。

コミュニティ・ヘルス・センターは、やがてお隣のケベック州に広がった。同州は、1970年代に、センターを設立するプログラムを導入し、いまではその数は150を超えている。

### 高齢者・障害者への対応

過去1世紀間における医学のめざましい進歩は、カナダ人の病気のパターンを大きく変えた。短期的な病気から漸次悪化する長患いに進む傾向を反映して、慢性の病気や疾患が伝染病に代わって健康問題の主因となったのである。

すべて一般税収と中高額者から集めた保険料から支払われている。

カナダの健康保険制度は、現在の形に整備されるまでに、いくつかの変遷をたどってきた。1867年にカナダ連邦が発足したとき、医療に対する一次的責任は州政府がもつことが憲法で定められた。州政府はまもなく、病院に補助金を与え、病人に医療サービスを提供するようになった。1914年には、サスカチュワン州が医者を雇い、病院を建て、医療を行なうための地方税を導入している。

その後の医学の進歩は目覚ましく、それとともに医療費も急速に高騰した。こうした中で、サスカチュワン州政府は1946年、すべての市民の医療費を公費で負担するという皆保険制度を採用した。次いで、基本的な医師診療報酬費に対する同様の保険制度も取り入れた。

このカナダ最初の試みこそは、現在の全国皆保険制度の元となったものである。やがて連邦政府は、すべての州政府および準州政府と診療費および医療費を分担するという協定を結ぶ。保険でカバーされるサービスが大体において全国的な基準に合う、というのが条件であった。例えば、現在で言えば、すべての住民は全額給付で必要な病院および医師サービスを受けられる、という基準を満たさなければならない。

その結果、すべてのカナダ国民は、どこに住んでいても、一律の基礎的医療が保障されるようになった。それに加えて、州や準州では、それぞれの特殊な医療環境に合わせた健康保険制度も採用している。これによって、各州は児童の菌の診療、高齢者の処方薬、検眼などの費用の一部を公費で

負担している。脊椎矯正指圧（カイロプラクティック）を給付の対象としている州もあれば、遠隔地から病院までの交通費を支払う州もある。

### 保険制度の成り立ち

健康保険制度の中で最も重要な存在は医師だろう。医師は、看護婦や心療科医、眼科医、歯科医、栄養士などといった、医師以外の医療専門家とともに、総合的な医療を提供する上で不可欠である。ほとんどのカナダ人は、病院や診療所、あるいは自宅で医師から診療を受けるからだ。重病あるいは重傷の場合は、近代的な病院で先端的な手術・加療技術を備えた医療専門家による最上の医療を受けることができるのは、言うまでもない。

あまり注目されることはないが、カナダ国民の健康を維持する上で最大の役割を果たしているのは、おそらく公衆衛生サービスだろう。公衆衛生係官は、飲料水、廃棄物、毒物などに関して厳しい環境上および職業上の健康基準を実施するほか、食品検査、予防注射、公衆衛生教育などを行なう。こうしたサービスがあまり話題にならないのは、問題がない証拠と言えるだろう。水がきれい、食品は安全、伝染病もない、というのはカナダでは当然のことと考えられている。

ボランティアもカナダの医療制度には欠かせない。何百、何千というボランティア組織が、高齢者や障害者、あるいは病人を自宅介護し、研究開発や器具のための基金を集め、相談ののったり、啓蒙活動をして、医療制度の網をさらに広げている。カナダはまた、血液の供給を献血のみに依存して